

山桜の里 戸赤

アンテナショップに「花豆パイ」

中山間地域等直接支払制度で

水路の草刈りにひと汗

田畑を荒らさず農業が続けられるようにするための助成制度を活用し、戸赤広田地内に水田を持つ耕作者6人は、11月15日水路の草刈りをしました。

戸赤地区では2ヶ落を対象区域としている。この中山間地域等直接支払制度は、水路や農道の維持作業を共同で行うなど、



農業生産活動が自律的に
かつ継続できるように
していくためのもので、

町内12集落230戸、100ヶ落に対し

平成26年度は約2千万円が交付されています。

地域活性化のためにも、集落の景観が基盤であり

農地の保全は切実な問題です。



【下郷】下郷町アンテナショップ開設
下郷町は五日間、町の魅力を発信するた
たり、東京台東区谷、谷中銀座商店街の
中銀座に「魅力発信 協力を得て企画した、
業」として、アンテナ 道の駅しものスタ
ショップを開設した。ツツがクッキーや大福
首飾園に向けて下郷 などじゅうんを使っ
した。大内酒や唐のへ
た商品、いろいろ味噌、
餅、花豆パイ、日本
酒など販売した。
町のパンフレット、
金子牧場のヨーグルト
や湯野上温泉のヨミナ
かん、起き上がり小
師などの記念品も配布
した。大内酒や唐のへ
つり、湯野上温泉など
の観光PRなどで観光
誘客にも努めた。
期間中、大勢の利用
客が訪れ下郷の魅力に
ついて理解を深めた。
買い物をした人を対象
に、湯野上温泉や大内
酒の宿泊利用券が当た
る抽選会も催した。

【木地の学習No.62】スリガタ 動力ロクロの回転数は1000~1200といわれ、手引きロクロの二、三倍の速さと考えられる。この速さを生かして考案されたのがスリガタである。スリガタは、お椀の曲線に合わせて凹凸に彫った定規の一種で、その上をカンナボウでなぞるようにして追っていくと、同じ形のお椀が挽くことができるようになっている。手挽き時代の木地椀は、職人の経験上の勘に頼って挽いていたが、スリガタを用いることによって、同じ規格のものが速く、しかも大量に生産されるようになった。従って、特別な技術をもった木地屋だけでなく、一般の人々も木地業に携わることができるようになった。スリガタは単に木地椀だけでなく、小さめの木鉢、神の鉢、サラダボールなどの製作にも応用された。スリガタの種類は内側のアラビキと仕上げ、それに外側のアラビキと仕上げとがある。砥ぐのに比較的骨が折れることがなく、しかも慎吾系統の鍛冶はハガネの鍛え方が上手であったので、切れ味は良かったという評判だった。スリガタを使用するときは、次のような付属品が必要である。ケイハン台 スリガタを支える台。ドウシ カンナボウの手元に近い所に取り付ける鉄製の道具で、三角柱のような形をしている。この三角柱の先端がスリガタとカンナボウとの接点になる。(会津地方歴史民俗資料館「木地語り」より)

(続)

充電も心も身も温泉で

戸赤老人会行事 27人中16人出席した温泉保養
行事(湯野上温泉民宿沼袋 H27.11.24)



(右から)
室井サツキさんと
室井タツイさん



ちょっと
いっぶく

【6.26花植作業の
とき】渡部利男さん
撮影

パンフレット作成につながる
観光町づくり補助事業不採択
代わりに地域づくりの勉強会に講師派遣事業検討

れきの
ひとコマ



道路が広がり石積み基礎の床掘中



本流右岸の新しい石積みが着々と姿を現す

2015/12/13 10:41

(ストーリー性のある村づくりのために[No.30] 伊南の堂平遺跡の一次調査で二点出土したが、何れも縦に細い溝が一本巡っている。同遺跡の三次調査でも三点の出土があったが、これは小石の両側縁に切り込みを入れたものである。後期・晩期の遺物を出土した南郷村下遺跡の発掘調査では十一の石錘と共に、穿孔された軽石製の浮子と思われるものが出土している。安張遺跡からは土錘が一点出土しており、只見町窪田遺跡では石錘の他に土錘が出土している。石篋(いべら)皮をなめしたり木製品の加工等に使用する石器で、南会津では本町の栗林遺跡をはじめ、田島の寺前・上ノ台・寺沢山の各遺跡や伊南上ハ田遺跡から出土している。多くは片刃に作られる。呪術・礼儀など精神生活にかかわるもの 石棒(いしぼう) 石棒には大型のものと小型のものがあり、概して大型のものは粗製であり、小型のものには精製品が多く大型のものは縄文中期、小型のものは縄文後期以降の所産である。後期末葉の安張遺跡からは大正十五年に美しい石質の見事な石棒が出土している。これは一端に握り部分があり、成功な文様が刻まれている。南会津西部では、伊南堂平遺跡より大正八年出土のものは美しい石質の精製品で、首の部分に二条の沈線を刻む。天理大学所蔵の上ハ田遺跡の出土品もこの類例であろう。また伊南馬捨場遺跡の出土品もスレート製と思われる精製品である。(「下郷町史-第7巻通史編(発行・下郷町)」より出典(続く))